

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563001001	科目番号 / Subject code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (G1~G3_L(韓1)) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日4限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします		
授業到達目標/Course goals	<p>◎主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。</p> <p>A)ハングルの文字を読み、書くことができるようになる。</p> <p>B)与えられたトピックについて、口頭(2分以上)、文章で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションできるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。</p> <p>課題 20%</p> <p>Speaking Test 30%</p> <p>定期試験 30%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室と退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 透視能力はある？
第3回	Task : 好きなものは？
第4回	Task : 相性No. 1はだれ？
第5回	Task : クラスの実態調査
第6回	スピーキングテスト
第7回	Task : 道案内しよう
第8回	Task : Two hamburgers, please.
第9回	Task : 値段を聞こう
第10回	Task : 自分の町紹介
第11回	Task : 今 している最中
第12回	Task : クイズ！私は何をしているのか？
第13回	Task : 週末の計画は？
第14回	スピーキングテスト練習
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563001002	科目番号 / Subject code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (P1・P2_T(韓2)) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします		
授業到達目標/Course goals	<p>◎主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。</p> <p>A)ハングルの文字を読み、書くことができるようになる。</p> <p>B)与えられたトピックについて、口頭(2分以上)、文章で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションできるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。</p> <p>課題 20%</p> <p>Speaking Test 30%</p> <p>定期試験 30%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室と退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 透視能力はある？
第3回	Task : 好きなものは？
第4回	Task : 相性No. 1はだれ？
第5回	Task : クラスの実態調査
第6回	スピーキングテスト
第7回	Task : 道案内しよう
第8回	Task : Two hamburgers, please.
第9回	Task : 値段を聞こう
第10回	Task : 自分の町紹介
第11回	Task : 今 している最中
第12回	Task : クイズ！私は何をしているのか？
第13回	Task : 週末の計画は？
第14回	スピーキングテスト練習
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563001003	科目番号 / Subject code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (L(韓2)_E(韓1))_F1~F3) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします		
授業到達目標/Course goals	<p>◎主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。</p> <p>A)ハングルの文字を読み、書くことができるようになる。</p> <p>B)与えられたトピックについて、口頭(2分以上)、文章で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションできるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。</p> <p>課題 20%</p> <p>スピーキングテスト 30%</p> <p>定期試験 30%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室と退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 透視能力はある？
第3回	Task : 好きなものは？
第4回	Task : 相性No. 1はだれ？
第5回	Task : クラスの実態調査
第6回	スピーキングテスト
第7回	Task : 道案内しよう
第8回	Task : Two hamburgers, please.
第9回	Task : 値段を聞こう
第10回	Task : 自分の町紹介
第11回	Task : 今 している最中
第12回	Task : クイズ！私は何をしているのか？
第13回	Task : 週末の計画は？
第14回	スピーキングテスト練習
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563001004	科目番号 / Subject code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (E(韓2)_D1・D2) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします		
授業到達目標/Course goals	<p>◎主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。</p> <p>A)ハングルの文字を読み、書くことができるようになる。</p> <p>B)与えられたトピックについて、口頭(2分以上)、文章で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションできるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。</p> <p>課題 20%</p> <p>スピーキングテスト 30%</p> <p>定期試験 30%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室と退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 透視能力はある？
第3回	Task : 好きなものは？
第4回	Task : 相性No. 1はだれ？
第5回	Task : クラスの実態調査
第6回	スピーキングテスト
第7回	Task : 道案内しよう
第8回	Task : Two hamburgers, please.
第9回	Task : 値段を聞こう
第10回	Task : 自分の町紹介
第11回	Task : 今 している最中
第12回	Task : クイズ！私は何をしているのか？
第13回	Task : 週末の計画は？
第14回	スピーキングテスト練習
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験（ペーパーテスト）



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563001005	科目番号 / Subject code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (M1~M6_T(韓1)_K1~K3) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日4限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします		
授業到達目標/Course goals	<p>◎主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。</p> <p>A)ハングルの文字を読み、書くことができるようになる。</p> <p>B)与えられたトピックについて、口頭(2分以上)、文章で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションできるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。</p> <p>課題 20%</p> <p>スピーキングテスト 30%</p> <p>定期試験 30%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室と退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 透視能力はある？
第3回	Task : 好きなものは？
第4回	Task : 相性No. 1はだれ？
第5回	Task : クラスの実態調査
第6回	スピーキングテスト
第7回	Task : 道案内しよう
第8回	Task : Two hamburgers, please.
第9回	Task : 値段を聞こう
第10回	Task : 自分の町紹介
第11回	Task : 今 している最中
第12回	Task : クイズ！私は何をしているのか？
第13回	Task : 週末の計画は？
第14回	スピーキングテスト練習
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563003001	科目番号 / Subject code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (P1・P2_T(韓2)) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします		
授業到達目標/Course goals	<p>◎主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。</p> <p>A)ハングルの文字を読み、書くことができるようになる。</p> <p>B)与えられたトピックについて、口頭(2分以上)、文章で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションできるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。</p> <p>課題 20%</p> <p>スピーキングテスト 30%</p> <p>定期試験 30%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室と退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 夏休みビンゴ
第3回	Task : I watched TV and...
第4回	Task : どんなテレビ番組を見た？
第5回	Task : 経験豊富な人を探せ
第6回	スピーキングテスト
第7回	Task : 観光案内をしよう
第8回	Task : Is this Japan?
第9回	Task : 乗り物で行き方をたずねたり、教えたりしよう
第10回	Task : 将来の夢は？
第11回	Task : 今年目標
第12回	Task : なぜ だから
第13回	Task : 私の家のルール
第14回	スピーキングテスト練習
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験(ペーパーテスト)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563003002	科目番号 / Subject code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (L(韓2)_E(韓1))_F1~F3) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします		
授業到達目標/Course goals	<p>◎主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。</p> <p>A)ハングルの文字を読み、書くことができるようになる。</p> <p>B)与えられたトピックについて、口頭(2分以上)、文章で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションできるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。</p> <p>課題 20%</p> <p>スピーキングテスト 30%</p> <p>定期試験 30%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室と退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 夏休みビンゴ
第3回	Task : I watched TV and...
第4回	Task : どんなテレビ番組を見た?
第5回	Task : 経験豊富な人を探せ
第6回	スピーキングテスト
第7回	Task : 観光案内をしよう
第8回	Task : Is this Japan?
第9回	Task : 乗り物で行き方をたずねたり、教えたりしよう
第10回	Task : 将来の夢は?
第11回	Task : 今年目標
第12回	Task : なぜ だから
第13回	Task : 私の家のルール
第14回	スピーキングテスト練習
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験(ペーパーテスト)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563003003	科目番号 / Subject code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (G1~G3_L(韓1)) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします		
授業到達目標/Course goals	<p>◎主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。</p> <p>A) ハングルの文字を読み、書くことができるようになる。</p> <p>B) 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)、文章で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションできるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。</p> <p>課題 20%</p> <p>スピーキングテスト 30%</p> <p>定期試験 30%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室と退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 夏休みビンゴ
第3回	Task : I watched TV and...
第4回	Task : どんなテレビ番組を見た？
第5回	Task : 経験豊富な人を探せ
第6回	スピーキングテスト
第7回	Task : 観光案内をしよう
第8回	Task : Is this Japan?
第9回	Task : 乗り物で行き方をたずねたり、教えたりしよう
第10回	Task : 将来の夢は？
第11回	Task : 今年目標
第12回	Task : なぜ だから
第13回	Task : 私の家のルール
第14回	スピーキングテスト練習
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験(ペーパーテスト)



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563003004	科目番号 / Subject code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (E(韓2)_D1・D2) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします		
授業到達目標/Course goals	<p>◎主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。</p> <p>A)ハングルの文字を読み、書くことができるようになる。</p> <p>B)与えられたトピックについて、口頭(2分以上)、文章で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションできるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>課題 20%</p> <p>授業内活動 30%</p> <p>授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。</p> <p>定期試験 30%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室と退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 夏休みビンゴ
第3回	Task : I watched TV and...
第4回	Task : どんなテレビ番組を見た？
第5回	Task : 経験豊富な人を探せ
第6回	スピーキングテスト
第7回	Task : 観光案内をしよう
第8回	Task : Is this Japan?
第9回	Task : 乗り物で行き方をたずねたり、教えたりしよう
第10回	Task : 将来の夢は？
第11回	Task : 今年目標
第12回	Task : なぜ だから
第13回	Task : 私の家のルール
第14回	スピーキングテスト練習
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験(ペーパーテスト)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563003005	科目番号 / Subject code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (M1~M6_T(韓1)_K1~K3) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日4限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします		
授業到達目標/Course goals	<p>◎主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。</p> <p>A) ハングルの文字を読み、書くことができるようになる。</p> <p>B) 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)、文章で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションできるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。</p> <p>課題 20%</p> <p>スピーキングテスト 30%</p> <p>定期試験 30%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室と退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 夏休みビンゴ
第3回	Task : I watched TV and...
第4回	Task : どんなテレビ番組を見た？
第5回	Task : 経験豊富な人を探せ
第6回	スピーキングテスト
第7回	Task : 観光案内をしよう
第8回	Task : Is this Japan?
第9回	Task : 乗り物で行き方をたずねたり、教えたりしよう
第10回	Task : 将来の夢は？
第11回	Task : 今年目標
第12回	Task : なぜ だから
第13回	Task : 私の家のルール
第14回	スピーキングテスト練習
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験(ペーパーテスト)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563005001	科目番号 / Subject code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (2T1 ~ 2T5_2K1 ~ 2K3) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日4限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語 Tと Uで身につけた韓国語能力をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	<p>①主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。  A与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションを行うことができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への取り組み方(20%) 課題(20%) Speaking Test 30点+Fun Essay 30点+Paper Test 30点(60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室、退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要な書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、異なる背景や考え方をもちた人との協働はもはや避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1: Three things about Me Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: Three things about Me Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: Three things about Me Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: Three things about Me Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Topic1: Three things about Me Poster Session Topic 2: Local Culture Brain Storming 1-minute conversation
第6回	Topic 2: Local Culture Peer-editing 2-minute conversation
第7回	Topic 2: Local Culture Recording & Transcription 3-minute conversation
第8回	Topic 2: Local Culture Common Mistakes 3-minute conversation
第9回	Speaking Test
第10回	Paper Test Topic 3: Life Styles Brain Storming 1-minute conversation
第11回	Topic 3: Life Styles Peer-editing 2-minute conversation
第12回	Topic 3: Life Styles Recording & Transcription 3-minute conversation
第13回	Topic 3: Life Styles Common Mistakes 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Life Styles Poster Session Speaking Test 練習
第15回	Speaking Test

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563005002	科目番号 / Subject code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (2M1 ~ 2M3_2D1・2D2_2T6 ~ 2T10) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語 Tと Uで身につけた韓国語能力をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	<p>①主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。  A与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションを行うことができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への取り組み方(20%) 課題(20%) Speaking Test 30点+Fun Essay 30点+Paper Test 30点(60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室、退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要な書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、異なる背景や考え方をもちた人との協働はもはや避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1: Three things about Me Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: Three things about Me Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: Three things about Me Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: Three things about Me Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Topic1: Three things about Me Poster Session Topic 2: Local Culture Brain Storming 1-minute conversation
第6回	Topic 2: Local Culture Peer-editing 2-minute conversation
第7回	Topic 2: Local Culture Recording & Transcription 3-minute conversation
第8回	Topic 2: Local Culture Common Mistakes 3-minute conversation
第9回	Speaking Test
第10回	Paper Test Topic 3: Life Styles Brain Storming 1-minute conversation
第11回	Topic 3: Life Styles Peer-editing 2-minute conversation
第12回	Topic 3: Life Styles Recording & Transcription 3-minute conversation
第13回	Topic 3: Life Styles Common Mistakes 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Life Styles Poster Session Speaking Test 練習
第15回	Speaking Test



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563005003	科目番号 / Subject code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (2E1 ~ 2E6) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語 Tと Uで身につけた韓国語能力をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	<p>①主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。  A与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションを行うことができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への取り組み方(20%) 課題(20%) Speaking Test 30点+Fun Essay 30点+Paper Test 30点(60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室、退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要な書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、異なる背景や考え方をもった人との協働はもはや避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1: Three things about Me Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: Three things about Me Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: Three things about Me Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: Three things about Me Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Topic1: Three things about Me Poster Session Topic 2: Local Culture Brain Storming 1-minute conversation
第6回	Topic 2: Local Culture Peer-editing 2-minute conversation
第7回	Topic 2: Local Culture Recording & Transcription 3-minute conversation
第8回	Topic 2: Local Culture Common Mistakes 3-minute conversation
第9回	Speaking Test
第10回	Paper Test Topic 3: Life Styles Brain Storming 1-minute conversation
第11回	Topic 3: Life Styles Peer-editing 2-minute conversation
第12回	Topic 3: Life Styles Recording & Transcription 3-minute conversation
第13回	Topic 3: Life Styles Common Mistakes 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Life Styles Poster Session Speaking Test 練習
第15回	Speaking Test

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563005004	科目番号 / Subject code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (2G1 ~ 2G3_2L1 ~ 2L3_2P1・2P2_2F1 ~ 2F3) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日2限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語 Tと Uで身につけた韓国語能力をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	<p>①主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。  A与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションを行うことができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への取り組み方(20%) 課題(20%) Speaking Test 30点+Fun Essay 30点+Paper Test 30点(60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室、退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要な書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、異なる背景や考え方をもった人との協働はもはや避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1: Three things about Me Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: Three things about Me Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: Three things about Me Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: Three things about Me Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Topic1: Three things about Me Poster Session Topic 2: Local Culture Brain Storming 1-minute conversation
第6回	Topic 2: Local Culture Peer-editing 2-minute conversation
第7回	Topic 2: Local Culture Recording & Transcription 3-minute conversation
第8回	Topic 2: Local Culture Common Mistakes 3-minute conversation
第9回	Speaking Test
第10回	Paper Test Topic 3: Life Styles Brain Storming 1-minute conversation
第11回	Topic 3: Life Styles Peer-editing 2-minute conversation
第12回	Topic 3: Life Styles Recording & Transcription 3-minute conversation
第13回	Topic 3: Life Styles Common Mistakes 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Life Styles Poster Session Speaking Test 練習
第15回	Speaking Test

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563007001	科目番号 / Subject code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (2T1 ~ 2T5_2K1 ~ 2K3) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語 Tと Uで身につけた韓国語能力をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	<p>①主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。  A与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションを行うことができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への取り組み方(20%) 課題(20%) Speaking Test 30点+Fun Essay 30点+Paper Test 30点(60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室、退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、異なる背景や考え方をもちた人との協働はもはや避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	Topic 1: How was the Break? Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: How was the Break? Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: How was the Break? Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: How was the Break? Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Topic1: How was the Break? Poster Session Topic 2: Close Friends Brain Storming 1-minute conversation
第6回	Topic 2: Close Friends Peer-editing 2-minute conversation
第7回	Topic 2: Local Culture Recording & Transcription 3-minute conversation
第8回	Topic 2: Close Friends Common Mistakes 3-minute conversation
第9回	Speaking Test
第10回	Paper Test Topic 3: Future Dreams Brain Storming 1-minute conversation
第11回	Topic 3: Future Dreams Peer-editing 2-minute conversation
第12回	Topic 3: Future Dreams Recording & Transcription 3-minute conversation
第13回	Topic 3: Future Dreams Common Mistakes 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Future Dreams Poster Session Speaking Test 練習
第15回	Speaking Test

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563007002	科目番号 / Subject code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (2M1 ~ 2M3_2D1・2D2_2T6 ~ 2T10) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語 Tと Uで身につけた韓国語能力をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	<p>◎主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。  A与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションを行うことができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への取り組み方(20%) 課題(20%) Speaking Test 30点+Fun Essay 30点+Paper Test 30点(60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室、退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、異なる背景や考え方をもった人との協働はもはや避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	Topic 1: How was the Break? Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: How was the Break? Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: How was the Break? Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: How was the Break? Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Topic1: How was the Break? Poster Session Topic 2: Close Friends Brain Storming 1-minute conversation
第6回	Topic 2: Close Friends Peer-editing 2-minute conversation
第7回	Topic 2: Local Culture Recording & Transcription 3-minute conversation
第8回	Topic 2: Close Friends Common Mistakes 3-minute conversation
第9回	Speaking Test
第10回	Paper Test Topic 3: Future Dreams Brain Storming 1-minute conversation
第11回	Topic 3: Future Dreams Peer-editing 2-minute conversation
第12回	Topic 3: Future Dreams Recording & Transcription 3-minute conversation
第13回	Topic 3: Future Dreams Common Mistakes 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Future Dreams Poster Session Speaking Test 練習
第15回	Speaking Test



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563007003	科目番号 / Subject code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (2G1 ~ 2G3_2L1 ~ 2L3_2P1・2P2_2F1 ~ 2F3) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語 Tと Uで身につけた韓国語能力をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	<p>①主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。  A与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションを行うことができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への取り組み方(20%) 課題(20%) Speaking Test 30点+Fun Essay 30点+Paper Test 30点(60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室、退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、異なる背景や考え方をもった人との協働はもはや避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	Topic 1: How was the Break? Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: How was the Break? Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: How was the Break? Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: How was the Break? Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Topic1: How was the Break? Poster Session Topic 2: Close Friends Brain Storming 1-minute conversation
第6回	Topic 2: Close Friends Peer-editing 2-minute conversation
第7回	Topic 2: Local Culture Recording & Transcription 3-minute conversation
第8回	Topic 2: Close Friends Common Mistakes 3-minute conversation
第9回	Speaking Test
第10回	Paper Test Topic 3: Future Dreams Brain Storming 1-minute conversation
第11回	Topic 3: Future Dreams Peer-editing 2-minute conversation
第12回	Topic 3: Future Dreams Recording & Transcription 3-minute conversation
第13回	Topic 3: Future Dreams Common Mistakes 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Future Dreams Poster Session Speaking Test 練習
第15回	Speaking Test

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180563007004	科目番号 / Subject code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Subject	韓国語 (2E1 ~ 2E6) / Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語 Tと Uで身につけた韓国語能力をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	<p>◎主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。  A与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現し、他者と積極的にコミュニケーションを行うことができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への取り組み方(20%) 課題(20%) Speaking Test 30点+Fun Essay 30点+Paper Test 30点(60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室、退室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は学部の壁を超えて、協働する力を養う場です。これからの社会において、異なる背景や考え方をもちた人との協働はもはや避けられません。自分から声をかけ、助けてあげ、また助けてもらいましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	Topic 1: How was the Break? Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: How was the Break? Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: How was the Break? Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: How was the Break? Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Topic1: How was the Break? Poster Session Topic 2: Close Friends Brain Storming 1-minute conversation
第6回	Topic 2: Close Friends Peer-editing 2-minute conversation
第7回	Topic 2: Local Culture Recording & Transcription 3-minute conversation
第8回	Topic 2: Close Friends Common Mistakes 3-minute conversation
第9回	Speaking Test
第10回	Paper Test Topic 3: Future Dreams Brain Storming 1-minute conversation
第11回	Topic 3: Future Dreams Peer-editing 2-minute conversation
第12回	Topic 3: Future Dreams Recording & Transcription 3-minute conversation
第13回	Topic 3: Future Dreams Common Mistakes 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Future Dreams Poster Session Speaking Test 練習
第15回	Speaking Test